

立山黒部ジオパーク

立山黒部ジオパークは、富山市から下新川郡朝日町までの富山県東部一帯に広がるジオパークです。この地域には、氷河を抱く3,000m級の立山連峰から深さ1,000mの「天然のいけす」富山湾まで、高低差4,000mのダイナミックな地形と、約38億年に及ぶ歴史を物語る大地の上に、多様な動植物、おいしい水、独特の文化などが凝縮された、世界に誇れる地域です。



ジオパークとは

ジオパーク(大地の公園)とは、大地の遺産である地域の自然や文化を学び、楽しみながら守り次世代へ伝えていく活動です。

大好き!
ジオパーク!

製作・発行: 特別天然記念物 魚津埋没林博物館
〒937-0067 富山県魚津市釈迦堂814
TEL: 0765-22-1049
http://www.city.uozu.toyama.jp/nekkoind/
2015年11月発行



博物館から飛び出そう!

魚津のジオめぐりマップ

「扇状地編」
UOZU GEO MAP



扇状地の水と人の結びつきを見つける
12のポイント

1 日常の足下に眠る太古の森

特別天然記念物魚津埋没林



魚津の海岸沿いに約2000年前に存在した原生林跡。直接の埋没原因は片貝川が運んできた土砂による埋没。地中で2000年近く朽ちずに保存されたのは、片貝川扇状地地下の伏流水によるものと考えられている。

(魚津市釈迦堂)

3 故池田弥三郎先生のお墨付き

魚津駅前のうまい水



魚津駅前にある、片貝川伏流水をくみ上げた水飲み場。かつて市内の短大教授として魚津で暮らした国文学者池田弥三郎が「日本一うまい」と称賛した魚津の水を魚津駅に下り立った来訪者に味わってもらえる施設として親しまれている。

(魚津市釈迦堂1丁目)

5 河口の眺めが急流の証し

早月川河口



大きな石が堆積した中洲の間を浅く急な流れが走る中流域の景観のまま富山湾に突入する早月川。海と接する河口周辺に、アキグミ、オオバヤナギ、ツルヨシなど河川中～上流の植物が生える。

(魚津市三ヶ)

7 誰の目にも公平にパイを切り分ける機能美

円筒分水



扇状地は水持ちが悪く農業用水をめぐる水争いが絶えなかった。各用水の灌漑面積比で仕切られた円筒分水は、誰の目にも公平に分配されていることがわかる。東山円筒分水は全国の円筒分水の中でも水の透明度と落差はトップクラス。

(魚津市東山)

2 海まで続く長い坂道

海岸に接する片貝川扇状地



片貝川上流から運ばれてきた土砂が堆積してきた扇形の地形。海と山が近い急峻な地形のため傾斜した扇状地が海に接している。魚津市の市街地のほとんどは扇状地上のため、海にむかって長い坂道が続く。

(魚津市北畷江付近)

4 盛り上がっていたかつての生活用水

てんこ水・鴨川



片貝川扇状地扇端部の湧水。鴨川の底からご飯の「てんこ盛り」のように湧き出る様子がてんこ水の由来とされる。かつて周辺では、水の湧く川底に土管などをかぶせ、その水を導水して生活用水として利用していた。

(魚津市本町2丁目)

6 崩れやすい地質に先人の苦勞

高円堂用水



江戸時代、天神野台地を開墾するため高円堂谷を埋め立てて造られた用水。もろく崩れやすい礫層のため難工事となり、完成後もたびたび崩れて工事が繰り返された。その様子が地元の民謡「布施谷節」に残っている。

(魚津市東山)

8 新幹線が見えかくれ

河岸段丘群



扇状地の隆起と片貝川の浸食によって、垂直に近い崖と平坦面からなる階段状の地形=段丘が形成されている。新幹線は大きな高低の変化をつけられないため、段丘を串刺しにするようにトンネルで通過する。

(魚津市石垣新ほか)

ピックアップモデルコースマップ

選んで巡ろう!ピックアップモデルコース



Aコース 扇状地下部・市街地～海岸の水の恵み (距離が長いので自家用車移動がおすすめ)

- START!** 見学30分程度
① 魚津埋没林博物館 (50m 博物館内移動)
- ② 僧ヶ岳・毛勝山展望 (1.5km 県道2号線経由 展望台)
- ③ 海岸に接する片貝川扇状地 (1.5km 市道・県道314号線経由 ありそドーム、浄化センター前道路)
- ④ 魚津駅前のうまい水 (2km 県道314号線 魚津駅 あいの風とやま鉄道)
- ⑤ てんこ水と鴨川 (3km 県道137号線 鯛差公園)
- ⑥ 早月川河口 (3km 県道137号線 ミラーシミュレーター付近)

■ 全体所要時間の目安 自家用車で1.5時間程度

Bコース 扇状地上部・水と共生する施設めぐり (距離が長いので自家用車移動がおすすめ)

※高円堂用水周辺はクマ・スズメバチ等の生息地です。鈴を携帯するなど十分にご注意下さい。

- START!** 遊歩道 往復+ 見学20分程度
⑥ 魚津埋没林博物館 (6.3km 県道314号線 128号線経由 工場付近)
- ⑦ 高円堂用水 (2.3km 県道67号線 331号線経由 東山集落から 南東約500m)
- ⑧ 片貝谷発電所 (2.3km 県道331号線 132号線経由 サージタンクが目印)
- ⑩ 黒谷頭首工 (3km 県道132号線 黒谷橋上流側)

■ 全体所要時間の目安 自家用車で1.5時間程度

9 サージタンクが目印・段丘の落差で発電



片貝谷発電所
片貝川の上流から順次発電に使われてきた水は、河岸段丘の落差を利用したこの発電所で最後の仕事をすする。有効落差74.48m、最大出力7000kw。水圧の急激な変化を吸収するサージタンクが独特の形をしている。
(魚津市島尻)

10 農業用水を一括取水



黒谷頭首工
片貝川流域の用水の出発地点となる施設。下流へ水を公平に配分するために、この頭首工で一括取水されている。この頭首工がある辺りが片貝川扇状地の扇頂部分にあたる。
(魚津市黒谷)

11 お坊さんが水の恵みを教えてくれる



僧ヶ岳
春から初夏残雪と山肌が描く模様＝雪絵が「僧」などに見えることが山名の由来。雪絵の変化が農作業の時期などの目安とされてきた。魚津市側の登山道は急登で上級向き。富山県立自然公園。

12 海岸から見える巨大な雪渓を歩く



毛勝山
標高2415m、魚津市の最奥部で片貝川の源流となる山岳。海岸からも見える巨大な雪渓は、海、山、里をめぐる水循環のスケールを実感させる。登山は上級者でも困難。中部山岳国立公園。